



## 全国学力・学習状況調査の結果

今年度4月に実施された6年生の全国学力・学習状況調査の結果と授業対応等についてお知らせします。

**国語** 「読むこと」に関しては、平均正答率が高く、中心となる語や文を見つけて、話の中心を捉えることができます。しかし、「書くこと」に関しては、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書き表すことに課題が見られます。そこで、図表やグラフから必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめる学習や、複数の情報を比較したり、関連づけたりする学習を行います。

**算数** 「変化と関係」の領域では、平均正答率が高く、伴って変わる二つの数量について、変化の特徴を読み取ることや、比例の関係を理解して正確に問題を解くことができます。しかし、「図形」の領域に関しては、正三角形の意味や性質についての理解、三角形の面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに関わる正答率が低く、課題が見られます。また、割合の理解やわり算の筆算の理解についても課題が見られます。そこで、公式を利用したり、計算方法を正しく身につけたりして、正しい解答を導き出す学習だけでなく、式や言葉を用いて自分の考え方を他者に分かりやすく説明する学習に力を入れます。

**児童質問紙** 家庭での過ごし方に関わる質問について一部、紹介します。

- ◆「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」という質問について、「よくしている」「ときどきしている」と答えた割合は、全国より少なくなっています。（65.8%）
- ◆「学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という質問について、「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と答えた割合は、全国より少なくなっています。（52.6%）
- ◆「学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む、教科書や参考書、漫画・雑誌は除く）」という質問に対して、「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」と答えた割合は、全国より少なくなっています。（28.9%）

質問紙調査の結果から、本校児童は、全国に比べて勉強時間・読書時間が短い傾向にあります。学校より出された家庭での学習だけでなく、ぼっちノートで授業の予習復習や調べ学習などの自主学習に取り組んだり、自分の苦手な教科や単元を理解して、計画的に学習したりすることが大切です。また、家族読書や読み聞かせなど本に触れる機会をご家庭でも増やしていただき、読書の時間を確保していくことも大切です。

